

新基地建設反対名護共同センターニュース

「違法工事は中止を！」と抗議続く



それでも、座り込み参加者は「違法工事は直ちに中止せよ」「機動隊は違法工事に手を貸すな!」「県民は絶対あきらめないぞ!」などとシュプレヒコールを繰り返し、抗議を続けました。前日の9日は、名護市安和の琉球セメント棧橋前で約150人が座り込み、海上からはカヌー13艇(写真左)、ゴムボート2隻で抗議行動を展開しました。県民の不屈のたたかいは今日も続いています。

10日、キャンプ・シュワブゲート前にはうるま市や沖縄市の島ぐるみなどから県民約100人が座り込みました(写真下)。各代表が県民投票不参加を決め込んでいる各市長の姿勢を糾弾し、全県民の意思を県民投票で圧倒的に示そうと訴えました。ホワイトハウスの署名が20万人を超え急速に広がっていることが紹介され、意気が上がりました。この日、いつもより一時間遅れで機動隊と作業車が座り込みの前に現れ、県民を排除し、作業車が入りました。

ゲート前でも安和でも非暴力のたたかいは
ごぼう抜きされても座り込みひるまず

新ゴムボートがデビュー

安和の棧橋での抗議行動に9日、昨年末に石川県の民医連のお医者さんから寄贈された未使用のゴムボートがデビューしました。ヘリ基地反対協の仲本興真事務局長は「抗議船を汀間から安和まで運ぶことは困難ですがゴムボートなら簡単に運べて助かります」と感謝しつつ、ハンドマイクで「琉球セメントは違法工事に手を貸すな」と抗議の声を上げ、カヌーチームの先頭に立って奮闘しました。



日本共産党が新春のつどい

日本共産党沖縄県委員会が7日、「新春のつどい」を浦添市内で開催しました。赤嶺政賢県委員長・衆院議員が、翁長雄志知事の急逝など激動の中で知事選勝利はじめ躍進を切り開いた昨年の「オール沖縄」のたたかいを振り返り、今年2月の豊見城市議選、県民投票、4月の衆院3区補選、そして7月の参院選での「オール沖縄」の勝利へ向けて力を合わせて奮闘し、安倍内閣を退陣させよう、と訴えました。

デニー知事、城間那覇市長、県政与党代表など挨拶

玉城デニー知事、城間那覇市長、瑞慶覧南城市長、屋良朝博衆院3区補選予定候補、社民党や社大党代表、「にぬふあーぶし」代表、新里県議会議長、伊波参院議員、県統一連代表が挨拶しました。新婦人のみなさんなどの歌声や琉舞、民謡も花を添えました。豊見城市議選の予定候補が勢ぞろいし「必勝めざしがんぼう」を三唱。最後に全員で腕を組み「沖縄を返せ」の合唱で終了しました。



名護城公園の桜が开花

名護城公園の緋寒桜が开花しました。いよいよ春到来ももうすぐです。今年こそ新基地建設反対のたたかいが結実するように頑張りましょう。

